

甲野区の再開発調査報告書

「三菱総研が丸写し」

調査費返還求め監査請求

中野区の発注で三菱総研(千代田区)が作成した再開発の調査報告書が、前年に別の業者がまとめた報告書の丸写しとされる内容だと、区

民が指摘していることが20日、分かった。区は調査費として三菱総研に1300万円を支払ったが、指摘した区民は返還を求めて監査請求を行っ

ている。区民らによれば、丸写しの疑いが持たれているのは、警察大学校跡地(中野区中野)の開発計画を含む「中野駅周辺ま

つくり推進委託報告書」。作成した「地区計画検討大跡地」について区は毎年、開発計画の委託調査を実施しているが、基本となるランドデザインが欠けていたとして平成17年12月、三菱総研に再調査を委託した。しかし今年3月にまと

めた約10ページの報告書のうち、技術的な都市計画について書かれた約50%分が、前年に都新都市建設公社(王子市)が作成した「地区計画検討大跡地」の調査報告書とほぼ同じ内容だった。区は報告書を検査した上、合格したとして調査費1300万円を支払ったが、区民2人が「丸写し」といえる報告書は不適切で、合格と判断した区はチェック不足と指摘、田中大輔区長に1300万円の補填を求める住民監査請求を行った。区の拠点ま

つくり推進は「報告書の中心は(前年の報告書にはない)ランドデザインの調査で、技術的な都市計画の部分で前年の報告書と同じ表現があるのは問題ではない」と主張。三菱総研は「内容についてコメントできないが、丸写しの事実はない」と否定している。

中野区警大跡地開発委託調査 前年度と酷似 区民が監査請求

06/09/22 「都政新報」

2005年度の警察大跡地利用の調査報告書が04年度の報告書の一部と酷似し、05年度の調査委託料1300万円は「税金の無駄遣い」として中野区民が19日、住民監査請求を起した。請求が却下されずスムーズに監査が進めば、11月20日には結果が出る見通しだ。区は03年度から警察大跡地利用の調査について、業者に委託してきた。04年度については、新都市建設公社が道路整備などを調査報告書にまとめた。区はこの報告書に基づき、05年5月「中野駅周

辺まわりの計画」を作成した。警察大跡地のハード部分は決まったが、中野駅周辺のランドデザイン(全体的な構想)などソフト部分について、05年12月に三菱総研研究所に調査を委託した。三菱総研の調査報告書は3部で構成され、200ページ以上にわたる。第3部の「中野四丁目地区地区計画の推進」で序文を除く約90ページが、「細かい表現をところどころ変えただけで内容は04年の報告書(の一部)とほとんど同じ。図のレイアウトも一緒」と、住民は指摘。さ

らに、住民は「出された報告書がほとんどコピーなのは、大問題ではないか」「報告書の内容を見たら、やり直しができるのに、それをしないのはなぜか」と憤る。一方、区の拠点まわりの推進室によると「ランドデザインにシートを置いたと、第3部については重視していなかった考えを示した。区は04年の報告書を三菱総研に渡したことを明らかにした上で、この第3部については「調製作業」などを依頼したという。三菱総研がどんな調査をしたのか、両者でど

んな話し合いがあったかは不明だ。調査委託料として区は三菱総研に1300万円を支払った。住民が情報公開請求した委託契約書では、内訳の項目が黒く塗りつぶされていた。酷似していた部分の調査委託料が多額なら、「中野区民の損害になるのではないか」などと考え、損害額1300万円の賠償を求めて住民監査請求した。今月26日、監査委員の協議会があり、警察大跡地の調査報告書の監査請求が認められるかどうかなどが話し合われるという。

再開発調査巡り 住民が監査請求

中野区長に

中野区が警察大学校跡地の再開発などの「中野駅周辺まわりの計画」に關連し、05年度に三菱総研研究所と契約金額1300万円で調査委託契約を結んだ件で、その支出は違法ないしは不当として住民2人が19日、契約金額1300万円の区への返還を田中大輔区長に求める住民監査請求をした。

監査請求書などによると、三菱総研研究所が納品した報告書の半分以上は04年度に別の業者が納品した報告書と同一内容という。報告書が前年度の修正程度ならば、競争入札で契約金額がもっと下がったはずだなどしている。

これに対し、区拠点まわりの推進室では「監査委員の対応を待たない」としている。